

とろろこんびシステム工房

承認はんこ Ver4.8.5

リファレンス(詳細仕様) 第1版

2015/09/13

とろろこんび電子印鑑

目次

	ページ
1. 押印日表示の文字フォント	3
2. 押印日表示の文字位置	4
3. 押印日付変更可否の設定	5
4. 印鑑オブジェクトの大きさ(サイズ)	6
5. インデックスファイル index.dat と shn ファイル	7

改定履歴

	改定内容	改定日
1 版	初版	2015/09/13

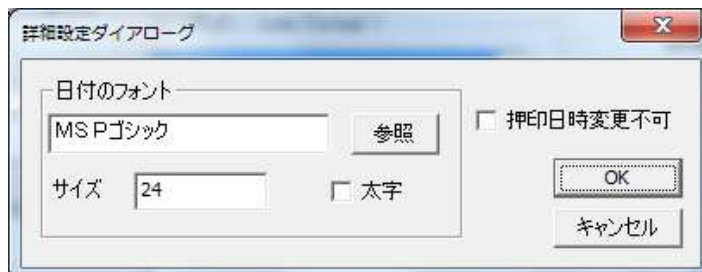
このマニュアルはとろろこんぶ電子印鑑「承認はんこ」のリファレンスマニュアルです。詳細説明ですので、機能を深く知りたい場合に参照してください。

1. 押印日表示の文字フォント

承認はんこの押印日表示に用いられる文字フォントについて説明いたします。

■管理ツール

押印日表示に用いられる文字フォントは管理ツールで承認印を登録する際、詳細設定ダイアログ(右図)で設定します。



管理ツール上で承認印の登録が完了

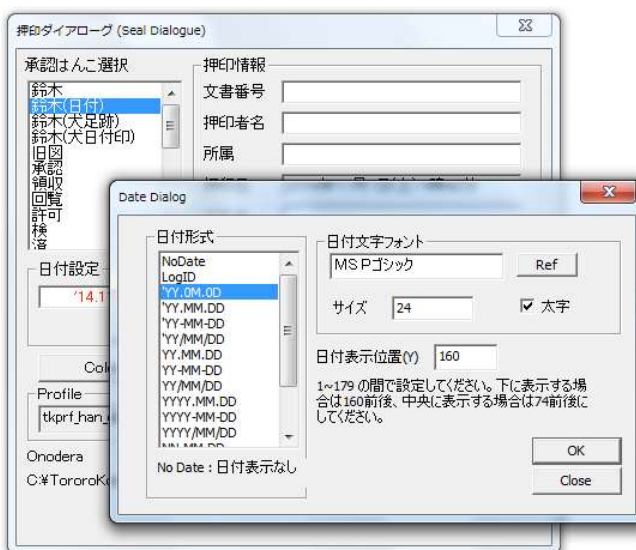
すると、承認はんこのデータファイル(拡張子 .shn)に文字フォント情報が出力されます。

例) データファイル(拡張子 .shn) の文字フォント記述部分

```
<Date><Lock>1</Lock><Format>NoDate</Format><Font><Name> M S P ゴ シ ッ ク
</Name><B>0</B><Size>24</Size></Font></Date>
```

承認印を構成する文字フォントは管理ツールで変更できるだけでなく、押印ツールでも変更できます。

押印ダイアログから呼び出される日付設定ダイアログ(上図)で変更することができます。



変更した結果は AppData フォルダ下の構成ファイル shanko.ini に保持されます。

構成ファイル shanko.ini の文字フォント記述部分例

```
[AAA]
Shape=<Shape><Size><X>11</X><Y>16</Y></Size></Shape>Date=<Date><Format>LogID</Format><Y>160</Y><Font><Name>M S P ゴ シ ッ ク</Name><B>0</B><Size>20</Size></Font></Date>
```



まとめ：押印する際、文字フォント情報の呼び込み順番は次の通りです。

1. 構成ファイル shanko.ini
2. データファイル .shnn

2. 押印日表示の文字座標

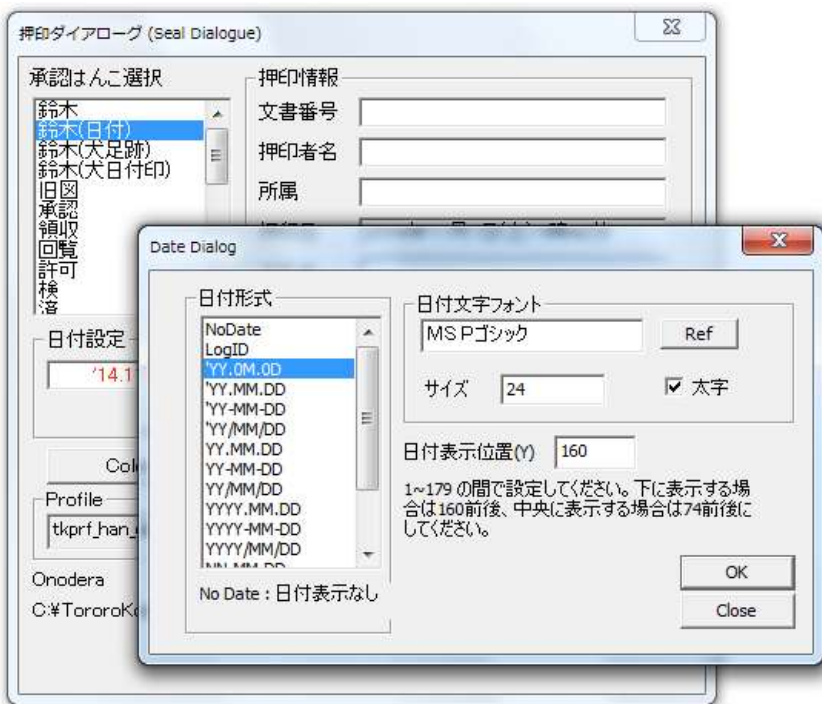
承認はんこの押印日付の表示位置（座標）設定について説明いたします。

文字座標のデフォルト値はプロファイルに記載されています。

例) プロファイルの文字位置記述部分（赤字）

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-2022-JP" ?>
<Profile><Shape><Size><X>11</X></Size></Shape><Date><Y>160</Y></Date></Profile>
```

押印時にはこのプロファイルに記載されている文字位置情報が読み込まれます。文字位置情報は押印ツールで押印する際、変更することもできます。



Seal Dialogu（押印ダイアログ）上のボタン「設定」をクリックすると日付設定ダイアログが開きます。日付設定ダイアログで日付表示位置の Y(垂直)座標で設定できます。1 から 179 の間で設定します。

設定した結果は AppData フォルダ下の構成ファイル shanko.ini に保持されます。

例) 構成ファイル shanko.ini の文字位置記述部分

```
[AAA]
Shape=<Shape><Size><X>11</X><Y>16</Y></Size></Shape>Date=<Date><Format>LogID</Format><Y>160</Y><Font><Name>MS Pゴシック</Name><B>0</B><Size>20</Size></Font></Date>
```



まとめ：押印する際、文字位置情報の呼び込み順番は次の通りです。

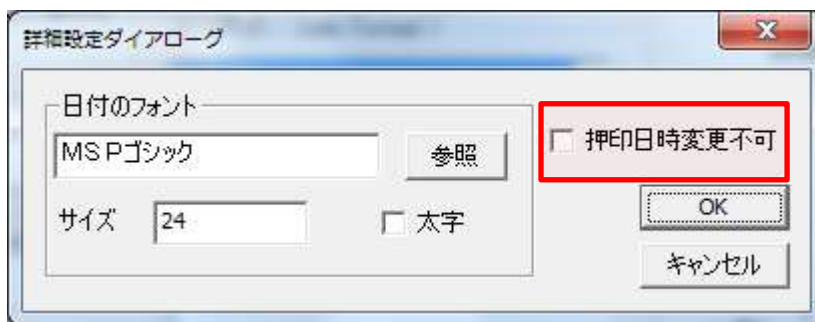
1. 構成ファイル shanko.ini
2. プロファイル .xml

3. 押印日付変更可否の設定

管理ツールで承認印を登録する際、押印日時の変更が出来る/出来ないの選択が行えます。

■手順

- 1) 管理ツールの追加ダイアログあるいは修正ダイアログを開きます。
- 2) 詳細設定ボタンをクリックし、チェックボックス「日付変更不可」で設定します。



設定値は .shn ファイルに書き込まれます。

- <Lock>1</Lock> の場合 -- 押印の際、押印日時の変更ができません。
- <Lock>0</Lock> の場合 -- 押印の際、押印日時の変更ができます。(デフォルト値)

例) .shn ファイル、赤字部分が「日付変更不可」の設定値

```
<Date><Lock>1</Lock><Format>NoDate</Format><Font><Name> M S P ゴ シ ッ ク
</Name><B>0</B><Size>24</Size></Font></Date>
```

日付変更不可にチェックを付けると押印ツールの押印ダイアログ上の押印日時が変更できなくなります。なお、デフォルト(初期値)では「日付変更不可」にチェックはついていないので、日時変更は可能になっています。

押印日付が変更できない設定になっている場合は、押印ダイアログの「押印日付」及び「日付形式」が変更不可になり、押印日付の変更が出来ません。



4. 印鑑オブジェクトの大きさ(サイズ)

印鑑の表示サイズは押印ツールで押印する際に押印ダイアログで設定します。

設定したサイズ値は保持され、次の押印時に反映されます。

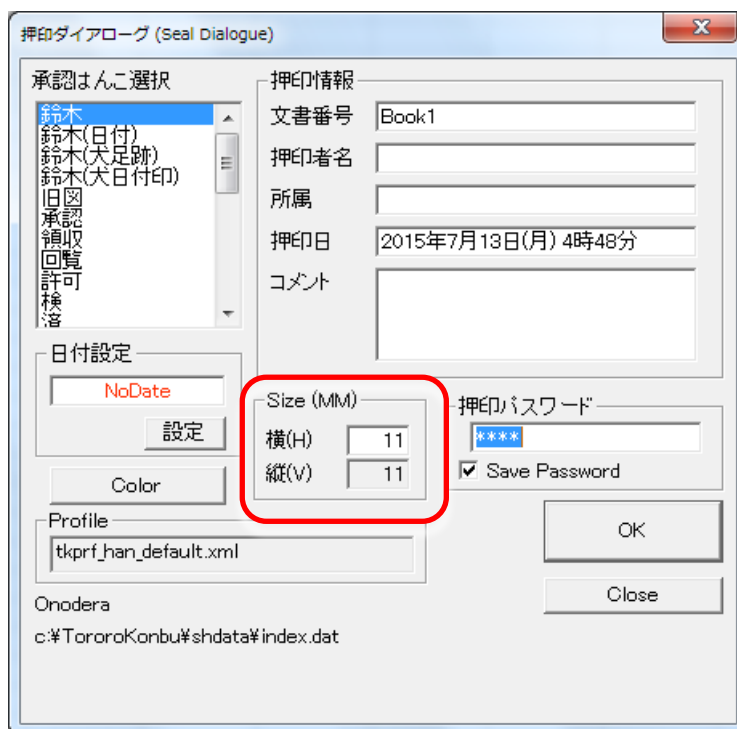
記録先は

C:\Users\ユーザー名

\AppData\Roaming\TororoKonbu

onbu\shanko.ini

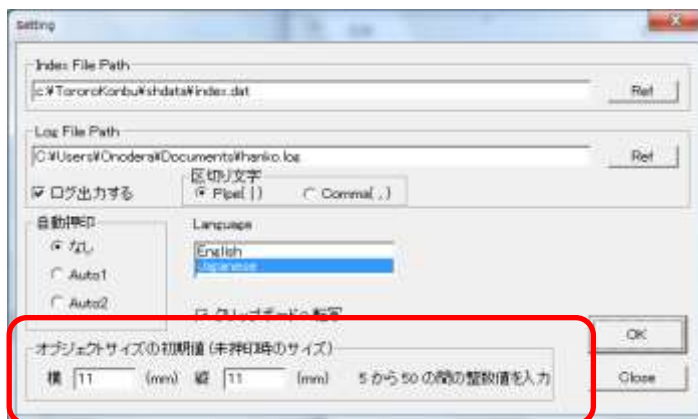
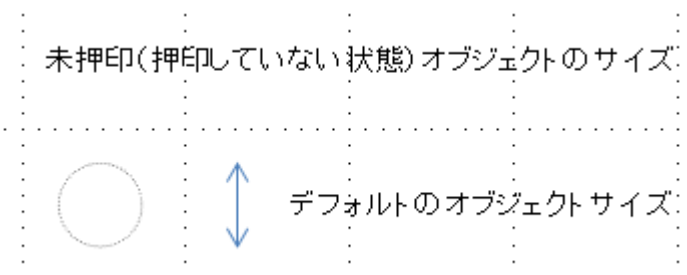
になります。



押印しない状態（未押印オブジェクト）で印鑑オブジェクトが挿入された場合は、デフォルトサイズになります。承認はんこ Ver4.8.4 Rel.1 以前ではこの値は 1 1 mm に固定でした。

日付印ぺったん Ver4.8.4 Rel.2 以降ではこのデフォルトサイズは設定変更できます。設定変更は押印ツールで行います。

設定値は 構成ファイル shanko.ini に書き込まれ、押印ツールが起動する際に読み込まれます。



shanko.ini の例

```
[MAIN]
SizeX=12
SizeY=12
```

C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\TororoKonbu\pettan.ini

5. インデックスファイル index.dat と shn ファイル

承認はんこの印影はインデックスファイル(デフォルトファイル名 shnindex.dat) と承認はんこファイル(拡張子 .shn)、および印影ファイル(拡張子 .hanx) とで管理されます。

参考)このインデックスファイルはユーザ毎に作成することもできますし、グループ毎に作成することもできます。つまり、1ユーザ1インデックスファイルでも、複数ユーザを1つのインデックスファイルにまとめて管理することもできます。インデックスファイルは INI 形式のテキストファイルです。メモ帳などで開いて内容を確認することができます。

インデックスファイルの例

```
[MAIN]
Number=23
Hanko0000=鈴木
Hanko0001=鈴木(犬足跡)
Hanko0002=鈴木(犬日付印)
Hanko0003=旧図
Hanko0004=社外秘
.
.
.

[鈴木]
Password=TOHQII
Data=<Shnfile>鈴木.shn</Shnfile><Profile>tkprf_han_default.xml</Profile>
Hash=#fKnEv

[[旧図]
Password=TOHQII
Data=<Shnfile>旧図.shn</Shnfile><Profile>tkprf_han_default.xml</Profile>
Hash=#13jcN
```

shn ファイルの例

```
<Han><File>00195_ 鈴
木.hanx</File><Key>NcNvNh</Key></Han><Profile>tkprf_han_default.xml</Profile>
<Date> <Lock>1</Lock><Format>YY.MM.DD</Format>
<Font><Name>MS ゴシック</Name><B>0</B><Size>20</Size></Font></Date>
```

これらのファイルはテキストファイルですのでメモ帳などで開くことはできますが編集はできません。承認はんこ管理ツール shankmgr.exe を用いる以外の方法でこれらのファイルを書き換えるとセキュリティーエラーとなり押印できません。



承認はんこのデータ(インデックスと shn ファイル、プロフィール)を他のパソコンに移動する際はフォルダーごと移動します。